

# 令和5年度 中央工学校 運営計画

## 1. 建学の目的と学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

中央工学校は、明治42年(1909年)「工業技術を教授し、もって実務的な技術者を養成する」ことを目的として設立された。校是を「堅実」とし、「厳しい実務教育」と「人間涵養教育」による正しい職業観の育成に努めている。また、学習指導の重点を「理論より実際」とし、「誠実で社会性豊かな技術者」を育てることを不変の使命とする。

よって本校が求める人材像は、

- ・自らの技術により自立を志す者
- ・協調性をもち人とのかかわりを大切にする者

であり、これをもって学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)と定める。

## 2. 基本的運営方針

令和5年度の基本的運営方針を次のように定め全学的に推進する。

- (1) 実技・実習による「厳しい実務教育」を教育の中核とする。
- (2) 「人間涵養教育」により豊かな社会性を有する技術者を育成する。

## 3. 令和5年度 重点管理指針

令和4年度業務監査及び自己評価結果を踏まえ、令和5年度の重点管理指針を次のように定める。

- (1) 「厳しい実務教育」「人間涵養教育」の推進
- (2) コロナ禍(アフターコロナ)における適切な学校運営
- (3) 「第三者評価」受審への取り組み
- (4) 学校運営の安定化

## 4. 具体的方策

### (1) 「厳しい実務教育」「人間涵養教育」の推進

#### ア. 厳しい実務教育

学校内での講義や実習だけでなく、即戦力として必要な実務に即した学外での実習を実施する。

#### (ア) 工業第一教員室(建築・インテリアデザイン・エンターテインメント)

- ・総合建設実習(必修)※建築学科・建築工学科・建築設計科・木造建築科・建築設備設計科
- ・施工管理実習(必修)※建築学科・建築工学科
- ・内装施工管理実習(必修)※建築室内設計科
- ・木造建方実習(必修)※木造建築科
- ・伝統建築調査(必修)※木造建築科
- ・地域密着型実践教育(必修)※建築学科・建築工学科・建築室内設計科
- ・東京都職業能力開発協会による専攻実習(必修)※建築学科・建築工学科 施工専攻

- ・校外設営実習(必修) ※エンターテインメント設営科
- ・舞台設営実習(必修) ※エンターテインメント設営科
- ・クリスマスチャリティーコンサート舞台設営(必修) ※エンターテインメント設営科
- ・仮設設営実習(必修) ※エンターテインメント設営科
- ・入学式、卒業証書授与式舞台演出(必修) ※エンターテインメント設営科

(イ) 工業第二教員室(土木・測量・造園・機械・CAD)

- ・総合建設実習(必修 足場・地盤・下水道・型枠施工・鉄筋組立) ※土木建設科
- ・総合建設実習(必修 造園施工) ※造園デザイン科
- ・総合測量実習(必修) ※土木建設科・測量科・地理空間情報科・土木測量科
- ・企業研修(必修) ※土木建設科・造園デザイン科・地理空間情報科
- ・切削加工講習会(必修) ※機械設計科・3D-CAD科・3DCAD設計科

(ウ) 商業・文化教員室(情報ビジネス・リベラルアーツ・グローバル)

- ・インターンシップ(特別選択) ※情報ビジネス科
- ・異文化コミュニケーション(必修) ※国際コミュニケーション科、リベラルアーツ科
- ・ビジネスプランニング(必修) ※情報ビジネス科

イ. 人間涵養教育

(ア) 軽井沢合宿研修(委員長：生川 清孝)

コミュニケーション能力の向上・日本文化の理解と継承のため、全学生必修の軽井沢合宿研修(2泊3日)を、3年振りに再開する。

なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から、前期は1泊2日(3日目:自宅学習)とし、後期は、2泊3日での実施を7月までに判断する。

(イ) 生活指導

生活指導主事を中心とした通学時のマナー指導、日常的習慣としての朝の挨拶運動(8時50分～9時15分)を実施する。

(2) コロナ禍(アフターコロナ)における適切な学校運営

手洗い・消毒・3密回避などの基本的な感染防止策を継続し、コロナ禍(アフターコロナ)においても通学を基本とした学習を継続する。

コロナ禍により導入された遠隔授業については、台風や降雪などによる休講(授業打ち切りを含む)の際に実施し、休講のない学習環境を維持する。また、その特色を生かした新たな教育手法としての有効活用を引き続き検討する。

### (3) 「第三者評価」受審への取り組み

「第三者評価準備委員会(委員長：教務部長)」を設置し、令和6年度の特定非営利活動法人 職業教育評価機構の第三者評価受審に向けた準備を進める。

- ・令和5年度 自己評価書の作成準備
- ・令和6年度 受審申込(7月)、自己評価書提出(9月)  
書面審査(11月)、訪問調査(1月)、第三者評価公表(3月)

### (4) 学校運営の安定化

#### ア. 令和5年度の設置科構成変更

- ・募集停止 工業専門課程 機械設計科(2年制)  
3D-CAD科(2年制)  
文化・教養専門課程 国際コミュニケーション科(2年制)
- ・新規開設 工業専門課程 3DCAD設計科(2年制)  
文化・教養専門課程 グローバル科(1年制)

#### イ. 令和6年度の設置科構成変更と授業料改定

- ・募集停止 工業専門課程 エンターテインメント設営科(2年制)  
造園デザイン科(2年制)  
インテリアデザイン科(3年制)ファニチュアデザイン専攻
- ・授業料改定 社会情勢などによる電気・ガス・水道などの経費増加、また、原材料費や物流コストの増などによる物価高を鑑み、充実した学習環境の維持と適切な教育活動を継続するために、令和6年度入学者から授業料の改定を行う。

#### ウ. 安定した学生数の確保

学習環境の整備や教育内容の充実を継続するとともに、その内容を広く周知する広報手法について、従来の方法に加えSNSなどのデジタルツールを積極的に活用する。

#### エ. 二級建築士の資格取得を目標とした学科の開設

令和8年度に、在学中の二級建築士資格取得を目標とした二級建築士専攻科(工業専門課程1年制)を開設する。

#### オ. 学校施設の再検証

令和6年度以降の設置科構成や定員数(学生数)を考慮した、適切な教室と実習室の使用計画を検討し、必要に応じた校舎群の再整備を計画する。具体的には、複数存在する実習室(第一・第二コンピュータ実習室、建設・土木材料実験室、第一・第二木造実習室)についての集約などを検討する。

#### カ. 令和7年度以降の設置科構成の検討

引き続き、少人数学科(昼夜)を見直し学校運営の安定化を図る。また、近年の新型コロナウイルス感染拡大の影響や特定技能の資格創設などを検証し、留学生教育も見直す。

## キ. 入試制度の検討

現在の推薦型選抜と一般選抜に加え、高等学校における成績評価や学習成果、小論文や面接などで人物を評価し、入学の可否を判断する選抜制度について、実施時期や減免措置などを含めた検討を開始する。

## (5) 継続して運営する重要事項について

### ア. 法令等の遵守による適正な学校運営

#### (ア) 授業時間数の確保と曜日毎の均等化

- ・ 計画休日の実施 4月28日(金) ※昼間のみ  
5月1日(月)・2日(火)
- ・ 祝日授業の実施 7月17日(月：海の日)  
9月18日(月：敬老の日) ※夜間のみ  
10月9日(月：スポーツの日)  
11月3日(金：文化の日)  
11月23日(木：勤労感謝の日)  
2月12日(月：振替休日)  
2月23日(金：天皇誕生日) ※夜間建築科2年のみ
- ・ 曜日変更の実施 5月25日(木)は水曜日の授業を実施 ※昼間のみ
- ・ 土日授業の実施 夜間建築科のみ

#### (イ) 個人情報管理

学生や保護者から提出された氏名や住所等の個人が特定できる情報については、関連する法令を遵守しその利用目的を明確にして厳重に管理する。

※個人情報管理責任者：各部署責任者(課長・室長)

#### (ウ) 学校敷地内全面禁煙

改正健康増進法および東京都受動喫煙防止条例により、学校敷地内を全面禁煙としている。未成年者の禁煙指導徹底を図るとともに、近隣への配慮も考慮した適切な指導を実施する。

#### (エ) 授業目的公衆送信補償金制度

遠隔授業を適正に実施するため、著作権法に定められた「授業目的公衆送信補償金制度」に申請し補償金を支払う。また、授業や配信された映像等の録画・録音及び二次使用などについても適切に管理する。

## イ. 「誇りある学校づくり」の推進

学校生活を充実させ、卒業して誇りのもてる学校を学生と共につくる。

#### (ア) 新入生歓迎イベント(教務課長)

新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度より中止している新入生を対象とした体育祭に代わり、学科やクラス内の交流を目的としたレクリエーション(球技大会など)を実施する。なお、詳細は、教務課長を中心に連携し計画する。

(イ) 第 57 回 飛鳥祭(委員長：佐々木 徹)

- ・開催月日：10 月 21 日(土)～22 日(日)

(ウ) クラブ・同好会活動(委員長：若泉 栄)

- ・感染防止策を徹底して活動再開

(エ) 研修旅行

- ・工業第一教員室：国内研修(建築) (特別選択 時期未定)  
国内研修(デザイン) (特別選択 時期未定)

(オ) 中央工学校 同窓会(会長：春日 泰、事務局：岡部 公一)

- ・在学生を対象とした支援、助成活動(各種学校行事)を行う。
- ・卒業生を対象とした母校見学会(王子校舎、軽井沢研修所)などを卒業 5 年毎の周年記念者へ案内し、卒業生連絡先の掌握と同窓会の運営を行う。

(カ) 図書館 (RISE)

- ・学生のニーズに即応できる選書、配架の整備を行う。
- ・図書及び文献データの長期保存、補修に関する研究と対応を図る。
- ・図書貸出検索ページ公開に向けた書架整備を推進する。
- ・図書館の開館時間などの利用方法について、学生サービスを第一とした適切な運営方法を検討する。

(キ) 創立 120 周年に向けた準備 (教務課長)

令和 11 年(2029 年)の創立 120 周年に向けて、令和 2 年から 10 年間の出来事をまとめた年史の作成準備を進める。

## ウ. 職業実践専門課程の実質的運営

令和 5 年度より、土木測量科(工業専門課程 夜間 2 年制)が新たに加わり、現在、16 学科(昼間 14 学科、夜間 2 学科)が認可されている。

教科構成や連携する企業(講師)などを適宜見直し改善を図るとともに、変更等が生じた場合は適切な手続きを実施する。

(ア) 教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の機能的な運営

教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会が学校組織化され、教育に関する問題点の発見と改善を図るために継続的かつ実質的な運営を行う。

①学校評価(自己評価・学校関係者評価)委員会

6 月：業務監査(各部署による自己評価)

10 月：令和 5 年度自己評価期間(自己評価書作成)

1 月：学校関係者評価委員会 開催

2 月：自己評価書・学校関係者評価書 公表(HP) → 次年度運営計画に反映

②教育課程編成委員会(工業専門課程・商業実務専門課程)

7 月：第 1 回教育課程編成委員会 開催

12 月：第 2 回教育課程編成委員会 開催 → 次年度運営計画に反映

随時：各教育系WG 開催

## エ. 留学生指導と在籍管理の徹底

出入国在留管理庁からの指導により以下に留意徹底する。

- ・資格外活動に関する調査、記録については、入学時の調査だけでなく、変更について十分に把握する。
- ・指導記録については担任不在の場合でも確認できるようにする。
- ・工業専門課程においては、「留学生の在学中の諸手続きについて」により指導を行う。商業実務専門課程及び文化・教養専門課程においては、「留学生指導の手引」により指導を行う。

## オ. キャリアプランに応じた進路指導

### (ア) 進路指導

クラス担任と就職指導課のダブルサポートで面談、電話、メール、ネットツール等により進路相談(キャリアカウンセリング)、多様性社会に対応した幅広く細やかなアドバイスをを行う。

### (イ) 就職指導

就職希望者には、本校学生専用の就職支援ポータルサイト運用と学外専門サイトを活用し、優良企業の求人票や情報の提供、個別紹介を重点に充実させる。

- ・就職指導ガイダンス(年3回)や各種講習会の実施(WEB開催、希望制)
- ・合同企業説明会の実施(2月、5月の年2回、共催：人材育成後援会・学校)
- ・就職模擬面接の実施(1～3月クラス別、個別希望制)
- ・就職支援マニュアルの改訂(WEB関連教材の充実)
- ・進路決定調査、アンケートの実施(就職状況の適切な掌握)
- ・企業面談と企業訪問および情報交換会への参加により1,000社と面談実施
- ・求人票の依頼と受付、公開(求人のための学校案内書の12,500社へ発送)
- ・中央工学校人材育成後援会の運営(総会、軽井沢研修所施設見学会など)
- ・実務研修(インターンシップ)等の企業連係

### (ウ) 進学指導

進学希望者には、クラス担任及び教務課と連携し学内進学、大学・大学院他への編入学指導を行う。

### (エ) 留学生の進路指導

工業専門課程の留学生への進路指導はクラス担任、教務課(留学生担当者)、就職指導課の三者でサポートし、商業実務専門課程及び文化・教養専門課程に属する留学生は商業・文化教員室(クラス担任)が中心に行うことを原則とし、公的支援機関の活用と就職指導課の三者一体でサポートする。

## カ. 教員資質向上のための教員研修の充実

実務教育を行う本校において、教員には常に新しい知識や技能の習得、資格取得が求められる。教員資質向上のため自己研鑽に努めること。また、必要に応じてグループ校との連携を行なう。

なお、職業実践専門課程については、以下の区分による研修が求められている。

- ・ 専攻分野における実務に関する研修
- ・ 指導力向上のための研修
- ・ 学校運営に関する研修

### (ア) 新入教職員研修

- ・ 学内研修 専修学校制度、職業実践専門課程、高等教育の修学支援新制度、軽井沢研修所、奨学金制度、留学生教育、レポート作成 等
- ・ 外部研修 キャリア教育プログラム(主催 一般財団法人 中央工学校生涯学習センター)

### (イ) 中堅教職員研修

- ・ 外部研修 キャリア教育プログラム(主催 一般財団法人 中央工学校生涯学習センター)

### (ウ) 教員研修(委員長：魚野 健太郎)

教員研修委員会主催による全教員対象の教員研修発表会は年1回(8月18日、STEPホール)、各教員室主催による研修発表会は随時開催する。

研修の成果は、年間を通して行う研修の他、短期で参加する研修などを含み校長に報告書を提出する。

### (エ) 東京都専修学校各種学校協会主催の研修

- ・ 専修学校教職課程研修会 研修者：佐野 雄大(工業第一教員室)

### (オ) 校外研修

企業等が開催する技術講習会や研修会に積極的に参加し自己研鑽に努める。

## キ. 在校生向け講座の充実と施設貸出事業の継続

過去に受託してきた企業・団体対象講習のノウハウを生かし、在校生向けの講座を充実させる。また、STEPホールや各実習室を中心とした施設貸出事業を継続する。

- ・ 在校生及び社会人を対象とした二級建築士受験対策講座の開催
- ・ 在校生を対象とした専門分野の資格試験対策講座及び特別教育講習等の開催
- ・ STEP施設を活用した各種セミナー、講演会の開催
- ・ STEPホール及び実習施設を企業と各種団体へ貸出の推進

## ク. 積極的広報による入学促進

広報センターによるグループ校全体での広報計画の立案及び推進を行うとともに、110周年記念校舎(2・3号館)をストロングポイントとした積極的な広報を図る。

また、新たなる広報活動として、Zoomを使用したオンライン学校説明会を積極的に活用し、リモートによる高等学校ガイダンスにも参加する。

前・後期初めに広報連絡会議を開催し、教員室との情報交換等を積極的に行うとともに、非出願者へのアンケート調査を実施し広報活動の検証を行う。

- ・体験入学(24回)
- ・学校説明会(7回)
- ・オープンキャンパス(4回) ※個別入学相談会
- ・オンライン学校説明会(7回) ※9月以降の日程は出願状況に応じて追加
- ・保護者対象学校説明会(2回)
- ・1stSTEP 体験入学(高校新2年・3年生対象)
- ・職業発見オープンキャンパス(ミニしごと倶楽部)
- ・学校説明会 in 軽井沢研修所(2回)
- ・夜間個別入学相談会(令和5年11月～令和6年1月)
- ・専門学校進学説明会(令和5年4月～令和6年3月)
- ・Tokyo しごと倶楽部 2023(主催：専門学校コンソーシアム Tokyo)
- ・高校訪問(通年、職員・在校生による訪問を含む)

## 5. その他

### (1) 学修成果の公開【令和4年度実績】

#### ア. 学修成果の発表の場を広く求め公開

- ・第22回専門学校卒業作品展示会
- ・第45回学生建築設計優秀作品展
- ・第31回 JIA 東京都学生卒業設計コンクール

#### イ. 学修意欲高揚を目的として各種コンペティションへ出展

##### (ア) 工業第一教員室(建築・インテリアデザイン・エンターテインメント)

- ・第20回主張する「みせ」学生デザインコンペ
- ・建築新人戦 2022
- ・建築学縁祭～Rookie 選～
- ・第34回丹波の森ウッドクラフト展

- ・第3回「隈研吾&東川町」KAGU デザインコンペ
- ・第17回 若年者ものづくり競技大会(建築大工)

##### (イ) 工業第二教員室(土木・測量・造園・機械・CAD)

- ・第49回全国造園デザインコンクール

##### (ウ) 商業・文化教員室(情報ビジネス・リベラルアーツ・グローバル)

- ・第19回ビジネスプロデュースコンペティション

## (2) 在学中の資格取得 (チャレンジプロジェクト)

在学中に一つ以上の資格取得を目指すことを目的としたチャレンジプロジェクトを推進するとともに、引き続き取得率向上に向けた指導体制の強化を図る。また、教育内容に特化した資格取得の他、社会人として必要な知識の向上を目的とした資格取得を、学生全員が取り組むことを推進する。

### ア. 学校全体で取り組む資格

- ・ 2 級施工管理技術検定(建築・管工事・土木・造園)
- ・ ビジネス能力検定(2 級・3 級)

### イ. 工業第一教員室(建築・インテリアデザイン・エンターテインメント)

- ・ 福祉住環境コーディネーター(2 級・3 級)
- ・ 2 級リビングスタイリスト
- ・ 色彩検定(2 級・3 級)
- ・ パース検定(2 級)
- ・ 商業施設士補
- ・ 建築積算士補
- ・ 健康住宅アドバイザー
- ・ 建築大工技能士(2 級・3 級)
- ・ AutoCAD ユーザー試験
- ・ Vector works 操作技能認定試験
- ・ インテリアコーディネーター
- ・ イベント検定試験
- ・ 足場の組立等の業務に係る特別教育
- ・ フルハーネス型安全帯使用作業特別教育

### ウ. 工業第二教員室(土木・測量・造園・機械・CAD)

- ・ 造園技能士(2 級・3 級)
- ・ 車両系建設機械運転技術者
- ・ 小型移動式クレーン運転者
- ・ 玉掛け技能者
- ・ 3 次元 CAD 利用技術者試験(準 1 級・2 級)
- ・ 2 次元 CAD 利用技術者試験(2 級)
- ・ CSWA 認定試験
- ・ CSWP 認定試験
- ・ 3D プリンター活用技術検定試験
- ・ 機械・プラント製図技能士(3 級)

## エ. 商業・文化教員室(情報ビジネス・リベラルアーツ・グローバル)

- ・日商簿記検定
- ・全経簿記能力検定試験
- ・ビジネス実務マナー検定試験
- ・秘書検定
- ・MOS 試験 (Microsoft office specialist)
- ・日本語能力試験
- ・BJT ビジネス日本語能力テスト

## (3) 教育機関他との有意義な連携

高等学校や専門学校などとの教育連携を推進し、相互理解と信頼関係を構築する。  
また、公共機関や地域住民との連携について、積極的に推進する。

### ア. 高等学校

#### (ア) 工業第一教員室(建築・インテリアデザイン・エンターテインメント)

- ・第 18 回高校生対象コンペティション(本校主催)
- ・舞台設営(クリスマス JAZZ コンサートにおける会場設営)実習(本校主催)
- ・東日本建築教育研究会
- ・全国設備工業教育研究会
- ・全国高等学校インテリア科教育研究会
- ・派遣授業(設備実習：東京都立田無工業高等学校)

#### (イ) 工業第二教員室(土木・測量・造園・機械・CAD)

- ・高校生対象測量士補模擬試験(本校主催)
- ・群馬県立吾妻中央高等学校連携実習(本校主催)
- ・東日本高等学校土木教育研究会総会・研究協議会

#### (ウ) 在校生による母校訪問

休暇期間など利用して在校生が母校を訪問し、高等学校関係者に修学状況や学修成果、卒業後の進路などを報告することにより高等学校との連携強化を図る。

### イ. 専門学校

#### (ア) (一社) 専門学校 コンソーシアム Tokyo

- ・夏季教員研修会：8 月上旬 会場未定
- ・Tokyo しごと倶楽部 2023：7 月 27 日(木) 会場 中央動物専門学校
- ・教育活動報告会：9 月下旬 会場未定
- ・電気工事関連実習(日本電子専門学校との連携授業)

#### (イ) 全国工業専門学校協会

- ・令和 5 年度 総会：7 月 11 日(火) 会場 アルカディア市ヶ谷
- ・学生による成果報告会：10 月 7 日(土) 会場未定

(ウ) 全国専門学校建築教育連絡協議会

- ・令和5年度 定例総会：6月10日(土) 広島工業大学専門学校

(エ) 全国専門学校土木教育研究会

- ・令和5年度 全国大会：8月23日(水)～24日(木) 東海工業専門学校金山校

(オ) 全国専門学校電気・電子教育研究会

- ・令和5年度 総会：未定

ウ. 公共機関や地域住民

(ア) 工業第一教員室 (建築・インテリアデザイン・エンターテインメント)

- ・夏休み 木のおもちゃづくり体験

(イ) 工業第二教員室 (土木・測量・造園・機械・CAD)

- ・「“遊び” から始まる体験教室」【小学生対象ドローン操縦(VR)及びハーバリウム制作体験】
- ・夏休み 小学生体験教室(機械・CAD)

(4) 保護者との連携

- ・保護者教育懇談会：5月20日(土)  
※令和5年度運営計画配付
- ・保護者対象軽井沢施設見学会：6月17日(土)～18日(日)  
※運営担当：工業第一教員室
- ・保護者通信発送(前・後期)

(5) 学生管理

ア. 出席指導

遅刻・欠席が常態化することのないよう、担任による根気強い指導を行う。

イ. 学籍異動に対する適切な指導(各教員室・教務課)

復学者に対する全員面接を実施し、学習意欲と休学理由解決の確認を行う。

ウ. 学生保険

在校中だけでなく、通学時やインターンシップなどの課外授業等にも適用される24時間対応の保険に加入して保障の充実を図っている。

エ. スクールライフアンケートの実施

学生の資質をアンケート分析により把握し、個々の学生に合わせた指導に役立てる。

## (6) 学生満足度の向上

### ア. 新入生アンケート・卒業生アンケート

アンケート結果を募集活動や学科運営、学生満足度の向上に役立てる。

### イ. 授業評価・授業アンケート

学生による授業評価・授業アンケートにより学生満足度の測定を行い、必要に応じ教授方法の改善を行う。

### ウ. 成績概況

学籍異動状況・科目平均点・出席率をはじめとした学習状況をまとめ、傾向の考察と改善に向けた対策を講じる。

### エ. 入学前指導

令和6年度新入生に対し入学前指導として春期デッサン講座(5日間)を開講する。  
(工業第一教員室)

## (7) 防災対策の整備

### ア. 避難訓練の実施

(ア) 新入生を対象とした避難場所の確認(4月当初ガイダンス)

- ・第1次避難場所：王子第二小学校
- ・第2次避難場所：北区中央公園

(イ) 校舎別避難訓練

- ・前期 17号館(工業第一教員室)
- ・後期 6号館(工業第二教員室)

### イ. 防災備蓄

(ア) 防災備蓄品(学生と教職員等に対し3日分)

- ・14号館地下1階(300個)、17号館1階(1,688個)
- ・消費期限：令和10年

(イ) 防災用トイレ

- ・約26,000回分
- ・使用期限：令和11年

### ウ. AED装置の設置

(ア) 設置場所

- ・1、2、5、14、17、20、21号館に合計7台

(イ) 操作方法習得の講習会

- ・8月18日(金) 教員研修発表会終了後

## エ. 非常時の学生連絡【学生手帳 P23】

台風や積雪等により、王子駅を通過する京浜東北線に障害が発生し、通学が困難になった場合の授業実施については、中央工学校のホームページ上にて連絡をする。

ホームページへの掲載時刻

昼間：午前 6 時

夜間：午後 3 時

在校中の場合には、その都度連絡する。

**※原則として休講はしない。**やむを得ず休講（授業打ち切りを含む）となる場合には、代替授業を別途定めて実施する。

## ※新型コロナウイルス感染症への対応

今後の感染拡大によっては、記載されている全ての各種実習や学校行事などについて変更する場合がある。

以 上